

科目名		身体障害治療学実習Ⅱ			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年		必修・選択
〔授業の目的・ねらい〕								
各疾患による様々な障害に対する作業療法の知識や技術について学び、その目的、訓練、援助など具体的な介入方法を学習・習得する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
身体障害に対する各期（急性期・回復期・維持期）の計画を立て、問題点となる障害に適切に治療介入し訓練内容を含め、組み立てられる（エビデンスを含む）。また身体障害に対する支援（日常生活・社会生活・就労など）方法についても考えられる。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
作業療法で関わる様々な疾患の治療原理をケーススタディーを通して理解し、身体障害に対する作業療法の実際を学ぶ。								
回数	講義内容							
1	身体機能作業療法の実践 脳血管障害の実際①							
2	身体機能作業療法の実践 脳血管障害の実際②症例提示							
3	身体機能作業療法 治療（ニューロリハビリテーションについて）							
4	身体機能作業療法の実践 脳血管障害の実際③症例提示							
5	身体機能作業療法 治療 EBMに基づく治療①							
6	身体機能作業療法 治療 EBMに基づく治療②							
7	身体機能作業療法 治療 EBMに基づく治療③							
8	身体機能作業療法 治療 EBMに基づく治療④							
9	身体機能作業療法 治療 EBMに基づく治療⑤							
10	身体機能作業療法の実践事例 切断のリハ（溝部先生）							
11	身体機能作業療法の実践事例 切断のリハ（溝部先生）							
12	身体機能作業療法 治療 脊髄損傷（清水先生）①							
13	身体機能作業療法 治療 脊髄損傷（清水先生）②							
14	身体機能作業療法 治療 脊髄損傷（日常生活活動・環境調整・心理的援助）							
15	身体機能作業療法の実践 呼吸器・循環器疾患（評価・治療の基礎）①							
16	身体機能作業療法の実践 呼吸器・循環器疾患（評価・治療の基礎）②							
17	身体機能作業療法の実践 呼吸器・循環器疾患（評価・治療の基礎）③スパイロメトリを含む							
18	身体機能作業療法の実践 呼吸器・循環器疾患（吸引について）①							
19	身体機能作業療法の実践 呼吸器・循環器疾患（吸引について）②							
20	ケーススタディー・演習を含む（脳血管障害・神経変性疾患）							
21	ケーススタディー・演習を含む（脳血管障害・神経変性疾患）							
22	ケーススタディー・演習を含む（脳血管障害・神経変性疾患）							
23	ケーススタディー・演習を含む（脳血管障害・神経変性疾患）・まとめ							
	定期試験							

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法学ゴールド・マスター・テキスト身体障害作業療法学 改定第2版		メジカルビュー
図解作業療法技術ガイド-根拠と臨床経験いもとづいた効果的な実践のすべて		文光堂

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、授業課題と試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする
--